

SSH通信

SSH講演会 ～ノーベル賞受賞者

2018.5.9 (水) 全校生徒

講師 白川 英樹 教授～

●第一回 SSH講演会

5月17日、ノーベル化学賞受賞者の白川英樹教授が三高にいらっしゃって講演をしてくださいました。白川教授ご自身の幼少期から現在に至るまでのお話の中で、どのようにしてノーベル賞を受賞するに至ったか、また今の私たちに求められることなど、非常に分かりやすい語り口で興味をそえられる内容でした。何事にも興味を持って探求し、ただ「知ること」ではなく「理解すること」が大事なのだと感じました。その積極的に探究する精神が、薄膜ポリアセチレン、さらには現在の社会に大きく貢献することとなった導電性プラスチックの発見に繋がったのだと思います。滅多にない貴重な経験を糧にして、何気ないことにも探求心を持って接していきたいと感じました。

(3年理科 田中 龍也)



6～8月の行事

6/25 理数科
第一回理数科講演会 1, 2年生

7/9 台湾師範大学附属
高級中学校 来校 全校生徒

7月中 ひらめきサイエンス 希望者

8/1～8/3 SSつくば研修 希望者

8/7～9 SS白神フィールドワーク 希望者

8/8～8/9 SSH生徒研究発表 代表生徒

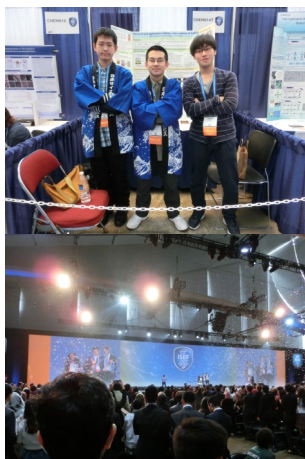
ISEF 国際学生科学技術フェア 出場

2018.5.13 (日) 自然科学部化学班

●ISEF出場について

ISEFとは高校生を対象とした世界最大の科学コンテストであり、本年はアメリカのピッツバーグにて開催されました。審査当日までピンバッジ交換会やオープニングセレモニー、ダンスパーティーなどたくさんのイベントが催され、世界中から集まった高校生と交流を図るのにとってもいい機会となりました。また、ノーベル賞受賞者によるパネルディスカッションもあり、とても興味深いお話を聞くことができました。審査当日では、ポスターを用いて約10名前後の審査員に対して発表と質疑応答を英語で行いました。残念ながら受賞することはできなかったものの、とても満足のいく発表をすることができました。この経験を生かして色々なことに挑戦していきたいと思います。

(3年理科 圓谷 修平)



Information

SSH課外活動は、理数科・普通科の別や学年を問わず本校生徒なら誰でも参加できるものがほとんどです。ぜひ、積極的に参加してください。

宮城県仙台第三高等学校

仙台市宮城野区鶴ヶ谷1-19

TEL 022(251)1246

FAX 022(251)1247

E-mail sensan@od.myswan.ed.jp

東北大学工学部研修

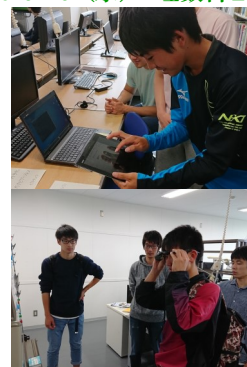
2018.5.23 (水) 理数科2年生

●最先端の研究にふれる

私たち理数科2年生は5月23日に東北大学に行き、いくつかのグループに分かれてエネルギー変換や熱制御など様々な研究に触れてきました。

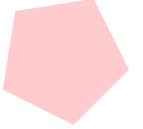
私は核融合炉実現に向けて研究を行っている橋爪研究室を見学してもらいました。研究室の教授や学生さんが核融合の仕組みや現在の課題、学生の生活の様子を分かりやすく説明して下さり、実際に研究で使われている冷凍機や超伝導体試験装置など数千万円する機械を見させてもらったりしました。また質疑応答の時間では質問に対して丁寧に説明してもらったりと、とてもよい研修となりました。

(2年理科 近江 証慶)



三高探究の日

2018.5.22 (火) 理数科全学年、普通科代表生徒



課題研究の成果発表

～理数科3年生

●三高探究の日を終えて

私はこの度の三高探究の日に発表者として臨みました。私たち三年生が今まで研究してきたことを発表する集大成となる場でした。この探究の日を通して、私は多くのことを感じました。まず、どの発表も完成度が高いということです。自分たちの研究に関する文献や先行研究を引用し、独自の研究を行っていました。また、発表の仕方にも工夫があり、何度も練習を重ねていることが伝わってきました。次に、一年生や二年生からの質問が多いということです。これには講師の方々も大変驚かされていました。私は驚きと共に理数科の先輩として安堵のようなものを感じました。これからもこのようなイベントを通して、三高としてのレベルを高め素晴らしい伝統を築き上げていきたいです。

(3年理数科 武田 怜士)



●探究の日

午前中はパソコンを用いての口頭発表が行われました。発表は2つ同時に行われており、好きな方を選択して見ることができました。私達は三高ならではの詳しい発表を聞き、さらに質疑応答の時間にはとても聞き応えのある議論を聞いて驚きました。午後にはポスターによる発表が行われ、この時間には興味のある発表をそれぞれが自由に見に行くことができました。先輩の発表を間近で見ることができ、口頭発表に比べて馴染みやすい雰囲気での発表でした。先輩達の研究発表を見て、私達も先輩のような研究をしようと思いました。

(1年理数科 中村 優月)

●三高探究の日を終えて

今回の三高探究の日では生徒の多くが積極的に質問をしていたと感じました。そのことはとても重要なことで、これからも大切になっていく力だと思っています。そして発表者の人たちも、聞いた人全員が理解できるように詳しく説明していました。私は今年2年生でこれから実験を行い、発表の準備や練習をしていくので、今回学んだことを生かして頑張りたいと思います。

(2年理数科 伊藤 大喜)



探究、つくば研修の成果発表

～普通科3年生

●人が自力で空を飛ぶには

私達のグループは、人が自力で空を飛ぶにはどうしたら良いか、ということテーマとし、その方法を探る緒として鳥類について調べ、探究の日に発表をしました。複数人に対して行う発表を繰り返す形式をとっているため、自分達の発表中の相手の反応を間近で見られたり、専門の方から直接アドバイスをいただけたこともあり、今回初めて普通科の一部が参加することになり、今後、普通科にこのような機会が増えたらいいなと感じました。

(3年普通科 牧 由理奈)

●好印象な立ち居振る舞い

探究の日、普通科文系代表としてポスター発表をしました。発表をしたのは昨年11月に行われたサイエンスフェスタ以来で、私たちの班は『好印象な立ち居振る舞い』について調べました。今回の発表では、理数科以外にも校外からの方が多数お見えになり、質疑応答なども活発に行われました。来賓の方々の中には、私たちの発表内容に関心を持った方や、英語での発表を評価した方がいらっしやり、嬉しかったです。一つのテーマについて追究し、協働することの意義についても深く感じさせられ、今後に活かせるような非常に良い経験となりました。

(3年普通科 茂田井 奈渚)

●つくば研修を終えて

私達は平成30年3月12日～14日にかけて行われたつくば研修において、土木研究所、KEK、JAXAを見学してきました。どの施設も最先端の研究を行っており、また外国の人と研究している施設も多くあり理系の勉強だけでなく英語の重要さも実感しました。この研修では普段見学できないような施設見学だけでなく、普通科ではあまりやらないような研修後のポスター発表も行い自分にとって大きな経験となりました。

(3年普通科 畠山 公佑)

